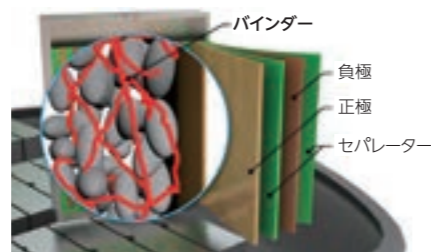


フッ化ビニリデン樹脂
クレハKFポリマー



リチウムイオン二次電池模式図



呉羽(常熟)フッ素材料有限公司 研究開発センター

「クレハKFポリマー」は、1970年にクレハが日本で最初に工業生産を開始したフッ化ビニリデン樹脂。電子材料や釣糸・楽器弦・ケミカルバルブなど、さまざまな分野に使われているエンジニアリングプラスチックです。また「クレハKFポリマー」が持つ耐薬品性、電気化学的安定性、高い接着性などの特性はリチウムイオン二次電池用のバインダー(接着剤)に非常に適しており、世界で初めてリチウムイオン二次電池が実用化された1991年より信頼と実績の素材として今もなお使用され続け、車載用三元系リチウムイオン二次電池正極材バインダー用途では世界市場の約40%のシェアを有しています。

脱炭素社会実現に向け、自動車産業では電気自動車などの環境対応車へのシフトが進んでいます。電気自動車に搭載されるリチウムイオン二次電池の需要も持続的に増加が見込まれています。現在当社では、

フッ素材料有限公司では従来からある研究開発センターに機能を拡充させた新棟を加え、自社の研究開発および顧客への技術サポート体制を強固にしました。地球温暖化は世界的な喫緊の課題。私たちクレハグループは長年培った技術をいかに、持続可能な社会の発展に貢献するモノづくりを推進していきます。



いわき事業所 新規生産設備

所在地 福島県いわき市錦町落合16
完成 2026年3月(予定)

生産能力 年産8,000トン
投資総額 約700億円*

*経済産業省による「蓄電池の国内生産基盤確保のための先端生産技術・開発促進事業の採択事業への助成金」および「経済安全保障法に基づく認定供給確保計画(蓄電池)の認定供給確保計画への助成金」に対する当社申請はいずれも採択いただいております。

社外からの評価

当社は、「クレハグループ企業理念」を主軸としたサステナビリティの推進に積極的に取り組んでおり、国内外の各種機関からも評価をいただいています。詳細につきましては当社HPのサステナビリティサイトに掲載しております。



Information インフォメーション

今までどおり書面で株主総会資料のお受取りを希望される株主様へ

会社法の改正により、2023年3月以降に開催される株主総会から、これまで郵送していた株主総会資料(株主総会参考書類、事業報告、計算書類および連結計算書類等)は、原則ウェブサイトでのご確認へと変わりました。インターネットのご利用が困難であるなどの事情により、書面の株主総会資料を希望される株主様は、当社株主総会基準日(2024年6月開催予定の定時株主総会におきましては、2024年3月31日)までに、書面で受領するための手続き(書面交付請求)を完了していただく必要があります。お手続き完了までに2週間以上お時間がかかる場合がございますので、余裕をもってお手続きくださいますようお願い申し上げます。

●書面交付請求の受付、お問い合わせ窓口

証券会社 お取引をされている証券会社
みずほ信託銀行 証券代行部 専用ダイヤル 0120-524-324(平日 9:00~17:00)
ウェブサイト https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html

●● 会社概要 / 株式の状況 CORPORATE DATA / STOCK DATA

会社の概要 (2023年9月30日現在)

商号 株式会社クレハ
英文社名 KUREHA CORPORATION
本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2
設立 1944年6月21日
資本金 18,169百万円
グループ従業員数 4,232名(単独:1,685名)
連結対象会社数 29社(連結子会社28社、持分法適用会社1社)
ホームページ https://www.kureha.co.jp/

役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長 小林 豊
取締役常務執行役員 田中 宏幸
取締役常務執行役員 西畑 直光
取締役常務執行役員 名武 克泰
社外取締役 戸坂 修
社外取締役 飯田 修
社外取締役 岡藤由美子
常勤監査役 吉田 徹
常勤社外監査役 林 道彦
社外監査役 奥野 克男
専務執行役員 佐藤 通浩
常務執行役員 野田 義夫
常務執行役員 陶山 浩二
執行役員 米澤 哲
執行役員 佐藤 浩幸
執行役員 木田 淳

株式の状況 (2023年9月30日現在)

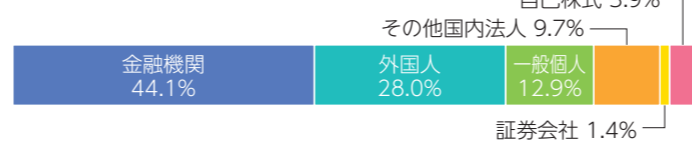
発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式総数 19,525,407株
株主数 10,650名

大株主の状況 (2023年9月30日現在)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,653 | 14.1 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 1,580 | 8.4 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 1,374 | 7.3 |
| 株式会社シティインデックスレブンス | 752 | 4.0 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 550 | 2.9 |
| 株式会社かんぽ生命保険 | 405 | 2.2 |
| 株式会社みずほ銀行 | 400 | 2.1 |
| GOVERNMENT OF NORWAY | 366 | 2.0 |
| JP MORGAN CHASE BANK 385632 | 331 | 1.8 |
| THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT | 295 | 1.6 |

注) 持株数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株式の所有者別構成比 (2023年9月30日現在)



WEBサイトのご紹介

当社の最新の情報はWEBサイトをご覧ください。



https://www.kureha.co.jp/

●株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

公告方法 当社のWebサイトに掲載します。(https://www.kureha.co.jp/ir/stocks/koukoku.html)
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1-3-3
みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

- お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
- お取扱店 みずほ信託銀行(※)
(※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
- 未払配当金のお支払 みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行
(※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社クレハ
KUREHA CORPORATION

KUREHA REPORT

クレハレポート 第111期 中間報告書

2023年4月1日 → 2023年9月30日



株式会社クレハ
KUREHA CORPORATION

証券コード: 4023

新中長期経営計画「未来創造への挑戦」を始動



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第111期中間期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の「クレハ レポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

代表取締役社長 **小林 豊**

2023年度上期の振り返り

2023年度上期の当社グループの売上収益は前年同期比13%減の885億円となりました。シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品においては、当社の長年の研究開発および営業活動の積み重ねにより売上収益が増加した一方、世界的な資源高に伴う、欧州等での需要の停滞を受け、車載用リチウムイオン二次電池材料であるフッ化ビニリデン樹脂の販売が減少しました。営業利益は特にフッ化ビニリデン樹脂が昨上期の特需とも言える旺盛な需要と原料高に伴う価格転嫁の反動が大きく、前年同期比45.3%減の91億円、税引前四半期利益は前年同期比43.3%減の99億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比44.2%減の68億円となりました。

なお中間配当金は、当初の予想通り1株につき130円とさせていただきます。

新中長期経営計画「未来創造への挑戦」を始動

2023年4月より新中長期経営計画を開始して約8か月が経過しました。中長期視点のありたい姿からバックキャストして、今取り組むべき課題に全社一丸となって施策を遂行しています。2023年8月には、当社のマザーファクトリーであるいわき事業所にてフッ化ビニリデン樹脂生産設備の増強を発表しました。能力増強が完成すれば、フッ化ビニリデン樹脂生産能力は、現状の年産11,000トン(中国工場における生産能力を含む)から19,000トンに大きく拡大し、将来の安定供給を強固なものとする事ができます。また、同時に、資本収益性の改善の観点から既存設備においてもデボルトネックも進

めております。高機能製品を主力とする当社の事業構造は、世界の景気サイクルと密接な関係を有し、その時々を経済環境に業績の影響を受けることも短期的には避けられません。しかし、地球温暖化等の環境問題への対応策として、電気自動車の世界的な普及はますます加速していくものと考えています。中長期の視点で経済環境を俯瞰し、先行きの見通しが立ちにくい現在の状況は、将来に大きく飛躍するためのチャンスであると考え、今やるべきことを着実に進めていくことが重要です。

新中長期経営計画では、「技術立社の再興」を経営方針の一つとして掲げました。スペシャリティケミカルカンパニーとして、既存製品のさらなる機能強化、新製品開発に向けた研究開発、コスト競争力の強化に向けた生産・技術力の強化を進め、地球と人間社会の未来に向けて、全てのステークホルダーの皆様が必要とされるクレハを目指してまいります。

2023年度通期業績予想について

2023年度通期の業績予想につきましては、PGA事業は継続的な拡大による収益の改善、家庭用ラップ事業においては、2023年度下期においても安定した収益が見込まれるものの、フッ化ビニリデン樹脂における市場環境の悪化を受け、売上収益は前期比5.9%減の1,800億円、営業利益は同37.4%減の140億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同37.8%減の105億円を予想しております。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

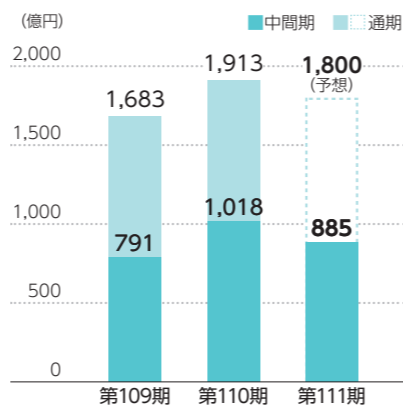
詳細はこちらをご覧ください

<https://www.kureha.co.jp/ir/zaimu/profits.html>

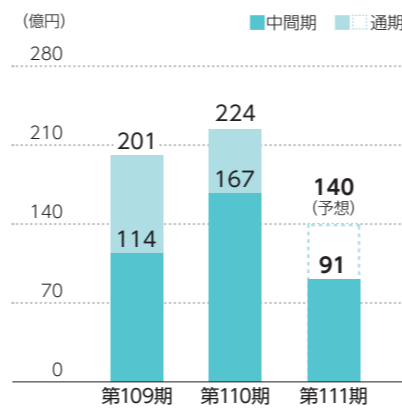


| 科目 | 第109期 (2021年度) | | 第110期 (2022年度) | | 第111期 (2023年度) | |
|-----------------------|----------------|----------|----------------|-----------|----------------|-------|
| | 中間 | 通期(期末) | 中間 | 通期(期末) | 中間 | 通期予想 |
| 売上収益 | (億円) 791 | 1,683 | 1,018 | 1,913 | 885 | 1,800 |
| 営業利益 | (億円) 114 | 201 | 167 | 224 | 91 | 140 |
| 税引前(四半期)利益 | (億円) 115 | 204 | 174 | 230 | 99 | 150 |
| 親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益 | (億円) 83 | 142 | 122 | 169 | 68 | 105 |
| 基本的1株当たり当期(四半期)利益 | (円) 426.7 | 725.7 | 624.6 | 864.3 | 355.3 | 555.0 |
| 1株当たり親会社所有者帰属持分 | (円) 9,848.9 | 10,207.3 | 10,919.3 | 11,026.02 | 11,710.39 | — |
| 親会社所有者帰属持分比率 | (%) 72.7 | 70.5 | 72.1 | 72.6 | 71.8 | — |

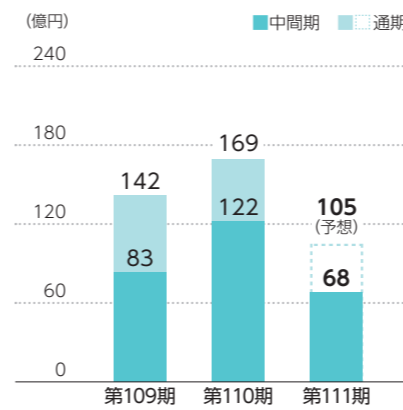
売上収益



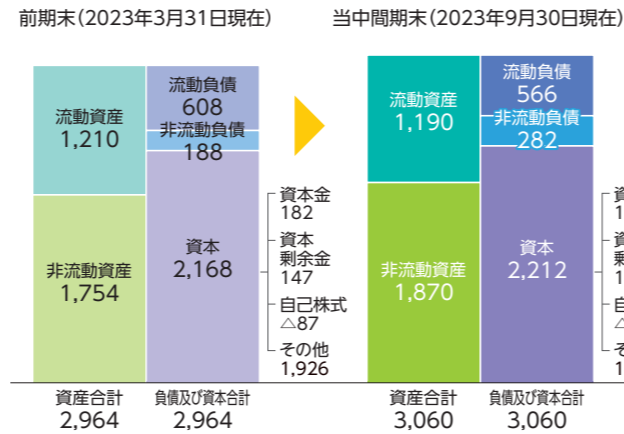
営業利益



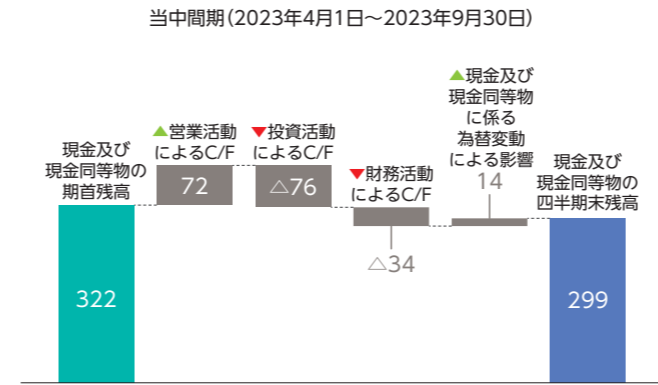
親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益



財政状態 (単位: 億円)



キャッシュ・フローの状況 (単位: 億円)



◆表示単位未満を四捨五入しています。

第111期剰余金の配当(中間配当)に関する取締役会決議

当社は、剰余金の配当等の決定に関して、将来の事業展開に向けた積極投資に資する内部留保を充実させつつ、安定的な配当を行い、目標配当性向を30%以上とすることを基本方針としております。

2023年10月24日開催の当社取締役会において、第111期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の中間配当は、1株当たり130円とすることを決議いたしました。

1株当たりの配当金 (円)

| | 110期 | 111期 |
|----|------|---------|
| 中間 | 125 | 130 |
| 期末 | 145 | 130(予想) |
| 年間 | 270 | 260(予想) |

詳細はこちらをご覧ください

<https://www.kureha.co.jp/ir/zaimu/efficiency.html>



機能製品事業

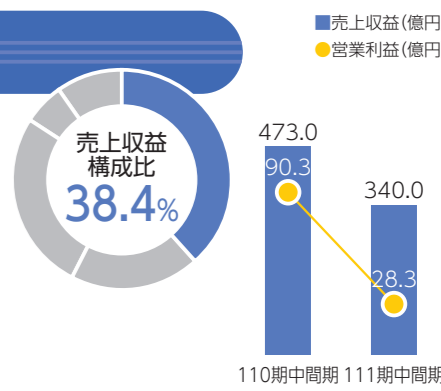
売上収益 **340.0**億円 (前年同期比28.1%減)

機能樹脂分野

PPS樹脂およびシェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品の売上は増加しましたが、リチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂およびその他の樹脂加工品等の売上が減少したことから、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。

炭素製品分野

高温炉用断熱材の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。



化学製品事業

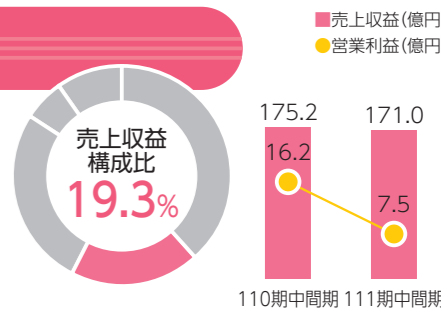
売上収益 **171.0**億円 (前年同期比2.4%減)

農業・医薬分野

農業・園芸用殺菌剤および慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上げが減少したことから、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。

工業薬品分野

無機および有機薬品類の売上げが増加し、前年同期の営業損失から営業利益となりました。



樹脂製品事業

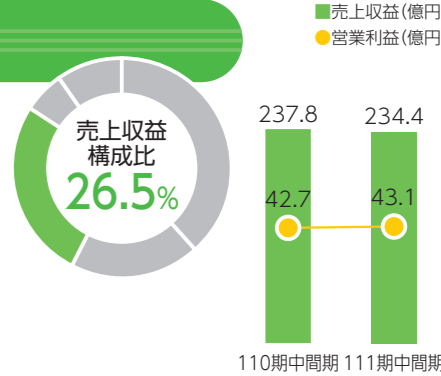
売上収益 **234.4**億円 (前年同期比1.4%減)

コンシューマー・グッズ分野

フッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げは前年同期並みでしたが、家庭用ラップ「NEWクレラップ」の売上げは増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

業務用食品包装材分野

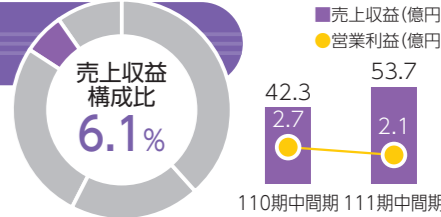
熱収縮多層フィルムおよび塩化ビニリデンフィルムの売上げが減少し、この分野での売上げは減少しましたが、経費の減少等により営業利益は前年同期並みとなりました。



建設関連事業

売上収益 **53.7**億円 (前年同期比26.8%増)

民間工事の増加により、売上げは増加しましたが、営業利益は前年同期並みとなりました。



その他関連事業

売上収益 **85.8**億円 (前年同期比3.8%減)

環境事業では、産業廃棄物処理の増加により、売上げは増加しましたが、営業利益は減少しました。運送事業では、売上げ、営業利益はともに減少しました。病院事業では、売上げは減少し、営業損失は増加しました。

